

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

1 事業の成果

令和3年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下、センターという）の管理・運営の第4期初年度である。指定期間は令和3年度～令和7年度の5年間である。新年度からセンター所長をはじめ、職員、相談員がすべて交代し、50歳代中心の職員体制になった。慣れないことも多いが、新しい感覚で、センターを見直し、施設運営も刷新された。センターの公式LINEアカウントを開設して、情報発信の幅が広がった。

令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ禍）は拡大と減少を繰り返し、令和3年4月には緊急事態宣言が出された。5月、6月の「母子家庭おしゃべり会」を中止、5月開始の就業支援講習会もすべて6月開始にせざるを得なかった。来所者が少ないゆるやかなスタートとなった。しかしコロナ禍で年間を通して中止としたのは、「夏休み学習教室」だけであり、この状況下では幸運だったと言える。

福岡市ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業も、自粛期間中は、面談件数が減った。しかし緊急事態解除後は、職場の自宅待機や、事業所閉鎖に伴う失業などの相談にも対処できた。伴走型の就業支援なので、生活保護受給者等就労自立支援事業を使い、マザーズハローワークやハローワークと連携して就職につながった。

4月、企業から提供された新事務所での活動を開始した。開所は週2回5時間で、そのうち3時間は相談対応とした。福岡市社会福祉協議会からの事業受託（お年玉企画として図書カード贈呈）、厚生労働省事業（食事等支援事業）、西日本新聞民生事業団からのチケット提供などひとり親を対象とした事業を手掛けることができた。今年初めて（株）アクタスよりランドセルが提供されたので、新一年生の希望者に手渡し喜ばれた。おてらおやつクラブではお寺からお供えをお送りくださっているの、食糧支援と同梱するとお菓子やジュースはお子さんに喜ばれた。

子育て支援事業のメインイベントである親子リフレッシュ事業は、バスなどの密閉空間は感染が懸念されるため、現地集合、現地解散とした。海の中道海浜公園（福岡市東区）に行き、全体でレクリエーションの後、各自が広々とした公園を楽しんだ。手渡したサンドイッチ弁当が好評で、子どもを遊ばせながら参加者どうしの交流が図られた。「福岡市母子福祉会芙蓉基金」の助成金を費用に充てた。福岡県の社会貢献事業のマッチングで、ピエトロとの協働事業が実施できた。能古島にある農園で、収穫体験とバーベキュー昼食という内容で、貴重な体験ができたこと喜ばれた。日本ロレアルより、ヘアサロンサービスの提供と、化粧品の提供があり、自分へのご褒美と喜ばれた。

昨年スタートした企画委員会では、子育て中のシングルマザー3名から子育て支援事業への要望や提案を聞いた。大手門保育園のホールを借りて実施していたクリスマス会も、ホール内での催しや飲食は感染拡大が懸念されるため、チャリティーサンタからの絵本プレゼントと焼き菓子詰め合わせのプレゼントとした。国際ソロブチミスト福岡中央からの寄付金を費用の一部にあてた。サンタから一人ずつに絵本がプレゼントされ、子どもたちの嬉しそうな顔が印象的だった。恒例の花見は、コロナ感染拡大防止のため、今年も中止とした。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスの市民グループ活動支援事業は、企画委員から、離婚に向けて、自分たちの体験談を語るパネルディスカッションが提案された。「私たちはどう苦難を乗り越えたか～離婚サバイバーに聞く」を開催した。コロナ感染疑いのため、パネリスト、参加者に欠席があったが、体験談を聞いたあと、グループワークで参加者と意見交換をした。「離婚にむけて進んでいく勇気がもたらされた」、「悩みを話して交流できる機会があり、ここでのお出合いが支えになっている」などの感想が寄せられた。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザーサポート団体全国協議会では、コロナ禍が続くため、仕事を失ったり、収入が減少したひとり親への支援を各地で継続した。認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむが「だいいじょうぶだよ！基金」に寄せられたカブコン（株）、カタログハウスなど企業と個人から寄付金を集め、参加団体は申請することで活動資金を得られた。春休み、夏休み、オータムと季節ごとに応援プロジェクトと銘打ち、食料品詰め合わせをゆうパックで送って喜ばれた。個人からもたくさんの寄付が寄せられたので、入学祝いとしてクオカードを、年末には使い勝手のいいイオンカードを送った。7月に静岡市で全国連絡会、2周年記念集会を開催した。毎月1回、Zoomで定例会議を行い、情報交換や行動に向けた打合せを行った。令和3年3月に始まった家族法に関する法制審議会の委員に、東京の赤石さんが選ばれたので、養育費や面会交流、共同親権の議論に当事者の声を反映させるべく、全国協議会でも議論を深めていくことにしている。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	令和3年4月～令和4年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	4人	福岡市内のひとり親、寡婦	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
相談事業	離婚、生活相談 (電話、メール)	令和3年4月～ 令和4年3月	当会事務所	2人	主としてひとり親 49人	0
セミナー事業	私たちはどう苦難を乗り越えたか ～離婚サバイバーに聞く～	令和4年1月29日	福岡市男女共同参画 センター アミカス	3人	離婚を考える女性 13人	23
	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和3年11月14日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 44人	3
出版事業	母子家庭に関する 会報の発行	年3回(6月、11月、 3月)	当会事務所	2人	購読者 133人	74
子育て 支援事業	親子で「収穫体験とハーベ キュー」in能古島	令和3年7月25日	福岡市西区 能古島	2人	ひとり親と子ども 22人	26
	リフレッシュ事業 親子レクリエーション	令和3年10月24日	福岡市東区 海の中道海浜公園	2人	ひとり親と子ども 34人	68
	親子で楽しむクリスマス	令和3年12月19日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	2人	ひとり親と子ども 74人	114
	花見	新型コロナ感染防 止のため中止		0人	ひとり親と子ども 0人	0
調査・研究 事業	実施せず					
福祉事業	食糧支援、化粧品・ランドセ ル・チケット・おてらおやつクラ ブ配布 (認定NPO法人しんぐるまざあ ず・ふぉーらむ、カブコン、カ タログハウス助成金含む)	令和3年4月～ 令和4年3月	当会事務所	2人	九州内のひとり親家庭 1024人	5,523
他団体の 事業受託	福岡市社会福祉協議会 (お年玉企画、図書カード贈呈)	令和3年12月～ 令和4年1月	当会事務所	3人	福岡市内のひとり親 562人	3,287
	厚生労働省 (ひとり親家庭食事支援事業)	令和4年3月	当会事務所	4人	福岡県内のひとり親 417人	1,966
	福岡市立ひとり親家庭支援セン ターの管理・運営	令和3年4月～ 令和4年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	11人	福岡市内のひとり親、寡婦 9705人	51,857
	福岡市ひとり親家庭等日常生活 支援事業	令和3年4月～ 令和4年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	23人	福岡市内のひとり親、寡婦 284人	3,047
その他法人 の目的達 成の為の事 業	シングルマザーサポート団体 全国協議会活動	令和3年4月～ 令和4年3月	各団体 事務所にてZoom会議	1人	参加団体 30団体	0
		7月17日、18日	2周年記念集会(静岡)	1人	参加者 84人	37